

## (7) 受講生によるアンケート評価

### ◎「命の尊厳を涵養する食農フィールド科学演習」アンケート集計結果

受講者数：計 39 名

#### I 本取組に関する共通の質問

##### I-1【属性について】

##### I-1-1) 所属大学・学部（コース等）

- 長浜バイオ大学 バイオサイエンス学部 アニマルバイオサイエンス学科：12名
- 福山大学 生命工学部 生命栄養科学科：5名  
海洋生物科学科：4名  
生命工学科：1名
- 呉工業高等専門学校 環境都市工学科：5名  
建築工学科：1
- 倉敷芸術科学大学 生命科学部 生命動物科学科：5名
- 東洋英和女学院大学 国際社会学部 国際コミュニケーション学科：2名  
国際社会学科：1名
- 東海大学（九州） 農学部 応用動物学科：2名
- 弓削商船高等専門学校 電子機械工学科：1名

##### I-1-2) 学年

- 1年次生：7名（17.9%）
- 2年次生：22名（56.4%）
- 3年次生：7名（17.9%）
- 4年次生：3名（7.7%）

##### I-1-3) 性別

- 男性：11名（28.2%）
- 女性：28名（71.8%）

##### I-1-4) この演習以外に、これまでにフィールドを利用した授業を受けた経験があるか

ある：18名（46.2%）、ない：21名（53.8%）

##### I-1-5) それほどの時期か（複数可）

- 大学：16名
- 中学校：該当者なし
- 高校：該当者なし
- 小学校：3名

##### I-1-6) 授業の内容

- 野菜の栽培：8名
- 乗船実習：2名
- みかんの収穫：1名
- 植物の同定：2名
- 農場体験：1名
- 米作り：1名
- 水族館実習：2名
- 地域調査：1名

## I-2【この授業に参加するにあたっての情報入手について】

### 授業のことを、何を通して知ったか（複数可）

- ガイダンス：12名（37.5%）
- ネット：該当者なし
- パンフレット：8名（20.5%）
- その他：14名（35.9%）
- 先輩から：5名（12.8%）

## I-3【この授業に参加した理由について】

### I-3-1）最も強い動機は？

- 自大には無い授業科目だから：15名（38.5%）
- 体験学習だから：3名（7.7%）
- 単位が取得できるから：8名（20.5%）
- 現在の志望分野に関係するから：2名（5.1%）
- 食と農について学べるから：3名（7.7%）
- 広い知識を得たいから：該当者なし
- 他大学のことを知りたいから：該当者なし
- 他大学の学生と交流できるから：該当者なし
- 友人が参加するから：該当者なし
- おもしろそうだから：8名（20.5%）
- その他（自由記述）：該当者なし

### I-3-2）二番目に強い動機は？

- 8名（20.5%）
- 12名（30.8%）
- 4名（10.3%）
- 該当者なし
- 5名（12.8%）
- 1名（2.6%）
- 2名（5.1%）
- 3名（7.7%）
- 該当者なし
- 4名（10.3%）
- 該当者なし

## I-4【広島大学で授業を受けた感想】

### I-4-1）今回受講したフィールド教育に類する授業は、自大学にはない科目・内容だった

- そう思う：30名（76.9%）
- わからない：4名（10.3%）
- 類する科目がある：5名（12.8%）

### I-4-2）他大学の先生の授業を受講できて良かった

- 強くそう思う：25名（64.1%）
- あまりそう思わない：該当者なし
- まあまあそう思う：14名（35.9%）
- 全く思わない：該当者なし

## I-5【他大学の学生との交流等について】

### I-5-1）今回の授業の受講者数（30名）は、

- 多すぎる：5名（12.8%）
- 少なすぎる：該当者なし
- 丁度良い：34名（87.2%）

### I-5-2）他大学の学生と同じ授業を受けたことについて

- 大変良かった：29名（74.4%）
- あまり良くなかった：該当者なし
- まあまあ良かった：10名（25.6%）
- 悪かった：該当者なし

### I-5-3) 他大学の学生と交流がどの程度できたと思うか

- 活発にできた：8名 (20.5%)
- あまりできなかった：3名 (7.7%)
- まあまあできた：28名 (71.8%)
- 全くできなかった：該当者なし

### I-6 【演習の実施方法について】

(この授業は、4日間の集中形式で、講義、実習、発表の3部から構成されている)

#### I-6-1) こうした組合せは、授業を理解する上で有効である

- 強くそう思う：25名 (64.1%)
- あまりそう思わない：6名 (15.4%)
- まあまあそう思う：8名 (20.5%)
- 全く思わない：該当者なし

#### I-6-2) 講義、実習、発表のうち、最も面白かったもの

- 講義：3名 (7.7%)
- 発表：2名 (5.1%)
- 実習：34名 (87.2%)

#### I-6-3) 3泊4日の日数について

- 長すぎる：4名 (10.3%)



#### I-6-4) 何日間なら良いか

- 1単位になっても2日間が良い：4名
- 1単位になっても3日間が良い：該当者なし
- 丁度良い：30名 (93.8%)
- 短すぎる：5名 (12.8%)

### I-7 【参加費に関して】

#### I-7-1) 自分の得たものを考えると参加費は妥当か

- 強くそう思う：29名 (74.4%)
- あまりそう思わない：2名 (5.1%)
- まあまあそう思う：8名 (20.5%)
- 全く思わない：該当者なし

#### I-7-2) 参加費(実費)から考えて、食事は満足できたか

- 強くそう思う：5名 (12.8%)
- あまりそう思わない：16名 (41.0%)
- まあまあそう思う：17名 (43.6%)
- 全く思わない：1名 (2.6%)

#### I-7-3) 参加費(実費)から考えて、宿泊施設には満足できたか

- 強くそう思う：19名 (48.7%)
- あまりそう思わない：8名 (20.5%)
- まあまあそう思う：12名 (30.8%)
- 全く思わない：該当者なし

I-7-4) 参加費（実費）をもっと高くしても食事と宿泊施設を良くしてほしいか

- そう思う：5名（12.8%）



I-7-5) 参加費（実費）がどの程度までなら参加するか

- 8,000円～：3名
- 10,000円～：2名
- そう思わない：34名（87.2%）
- 15,000円～：該当者なし
- 20,000円～：該当者なし

I-8【食農フィールド科学演習全体について】

I-8-1) このフィールド科学演習の形式は通常の講義だけの授業よりも、物事を考える上で、有意義である

- 強くそう思う：35名（89.7%）
- まあまあそう思う：4名（10.3%）
- あまりそう思わない：該当者なし
- 全く思わない：該当者なし

I-8-2) この演習によって、フィールド科学の幅広さや面白さを知った

- 強くそう思う：27名（69.2%）
- まあまあそう思う：10名（25.6%）
- あまりそう思わない：2名（5.1%）
- 全く思わない：該当者なし

I-8-3) この演習を受講して食べ物と農業の関係についてもっと知りたくなった

- 強くそう思う：12名（30.8%）
- まあまあそう思う：25名（64.1%）
- あまりそう思わない：2名（5.1%）
- 全く思わない：該当者なし

I-8-4) この演習によって、食べ物と命の関連性について考えるようになった

- 強くそう思う：16名（41.0%）
- まあまあそう思う：22名（56.4%）
- あまりそう思わない：1名（2.6%）
- 全く思わない：該当者なし

I-8-5) この演習によって、わが国の食料自給率について考えるようになった

- 強くそう思う：5名（12.8%）
- まあまあそう思う：14名（35.9%）
- あまりそう思わない：10名（25.6%）
- 全く思わない：該当者なし

I-8-6) この演習によって、行動力や積極性を高めることができた

- 強くそう思う：13名（33.3%）
- まあまあそう思う：24名（61.5%）
- あまりそう思わない：2名（5.1%）
- 全く思わない：該当者なし

I-8-7) この演習によって、これからの学習意欲が高まった

- 強くそう思う：24名（61.5%）
- まあまあそう思う：25名（64.1%）
- あまりそう思わない：該当者なし
- 全く思わない：該当者なし

I-8-8) 他大学の学生と交流することによって、コミュニケーションスキルが高まった

- 強くそう思う：11名 (28.2%)
- あまりそう思わない：8名 (20.5%)
- まあまあそう思う：20名 (51.3%)
- 全く思わない：該当者なし

I-8-9) グループ単位の実習によって、チームワークに対する意識が高まった

- 強くそう思う：16名 (41.0%)
- あまりそう思わない：該当者なし
- まあまあそう思う：23名 (59.0%)
- 全く思わない：該当者なし

I-8-10) グループ単位の実習によって、リーダーシップをとる力が高まった

- 強くそう思う：3名 (7.7%)
- あまりそう思わない：20名 (51.3%)
- まあまあそう思う：12名 (30.8%)
- 全く思わない：4名 (10.3%)

I-8-11) 参加する前の期待度に比べて満足度はどうか

- 非常に満足した：19名 (48.7%)
- あまり満足できない：該当者なし
- まあまあ満足した：20名 (51.3%)
- 全く満足できない：該当者なし

I-8-12) 今回の演習を受講して後輩にも勧めたいと思ったか

- 強くそう思う：12名 (30.8%)
- あまりそう思わない：3名 (7.7%)
- まあまあそう思う：24名 (61.5%)
- 全く思わない：該当者なし

I-8-13) 本演習以外にも他大学の講義を受講できる機会をもっと増やして欲しいか

- 強くそう思う：17名 (43.6%)
- あまりそう思わない：5名 (12.8%)
- まあまあそう思う：17名 (43.6%)
- 全く思わない：該当者なし

I-8-14) 本演習で経験したことは将来の進路選択の参考になったか

- 強くそう思う：5名 (12.8%)
- あまりそう思わない：14名 (35.9%)
- まあまあそう思う：12名 (30.8%)
- 全く思わない：8名 (20.5%)

## II 授業に関する質問（この演習は、講義、実習、発表等から構成されている）

### II-1 【今回の講義に関する質問】

#### II-1-1) 最も面白いと感じた講義とその理由

- 家畜（ニワトリ）の体の仕組みを見る：30名（76.9%）
  - ・解剖したのは初めてだったから。
  - ・ニワトリは今まで肉として見てきたが、体の構造を見て衝撃的だった。
  - ・普段、ラットの解剖をしているので、ニワトリと比べられて面白かった。
  - ・実際に見ながら体の構造を詳しく学べたから。
  - ・イヌやネコとは違うことがわかったから。
  - ・普段、食べている部位などを見られたから。
  - ・ジビエに興味があるので、参考になった。
- ニワトリの肉を加工する：該当者なし
- 人と動物の関係について考える：4名（10.3%）
  - ・新しい考え方を聞くことができたから。　・納得できたから。
- 家畜の生命を支える大地の働きを探る：3名（7.7%）
  - ・pHを測定したりする実験が好きだから。　・土のことを考えたことがなかったから。
- 搾った牛乳からヨーグルトを作る：2名（2.6%）
  - ・簡単に作れたから。　・2種類のエッセンスを入れることを知らなかったから。
- 生乳の加工とバター作り：該当者なし

#### II-1-2) 最も理解しにくかった講義とその理由

- 家畜（ニワトリ）の体の仕組みを見る：2名（12.8%）
  - ・解剖が苦手だから。
- ニワトリの肉を加工する：6名（15.4%）
  - ・計算が難しかった。　・自分たちでできる作業が少なかった。
- 人と動物の関係について考える：該当者なし
- 家畜の生命を支える大地の働きを探る：8名（20.5%）
  - ・計算が難しかった。　・講義の意図がわかりづらかった。
  - ・あまり知らない分野だったから。
- 搾った牛乳からヨーグルトを作る：3名（7.7%）
  - ・作業をしながらの講義は集中できなかった。　・立ちっぱなしが辛かった。
- 生乳の加工とバター作り：該当者なし
- 無回答（特になし）：22名（56.4%）

## Ⅱ－２【今回の実習に関する質問】

### Ⅱ－２－１）最も面白いと感じた管理作業とその理由

- 乳搾り体験：32名（82.1%）
  - ・最も楽しみにしていたから。
  - ・ウシに触れて搾乳体験ができたから。
  - ・ウシを間近で見られたから。
  - ・ウシの体温が伝わってきたから。
- 乳牛へのエサやり：2名（5.1%）
  - ・餌の量などが管理されていることに感動した。
  - ・子ウシへのエサやりが楽しかった。
- 中小家畜へのエサやりと畜舎の掃除：4名（10.3%）
  - ・ヤギやヒツジが可愛かった。
- 肉牛へのエサやり：1名（2.6%）
  - ・放牧へ行くのが楽しかった。

### Ⅱ－２－２）最も理解しにくかった管理作業とその理由

- 乳搾り体験：1名（7.7%）
  - ・搾乳機の取り付けが難しかった。
- 乳牛へのエサやり：2名（5.1%）
  - ・機会に餌を乗せるだけだったから。
  - ・餌の内容が見えにくかった。
- 中小家畜へのエサやりと畜舎の掃除：4名（10.3%）
  - ・エサやりができなかった。
  - ・掃除を体験してみたかった。
- 肉牛へのエサやり：2名（5.1%）
  - ・乳牛との餌の違いについて知りたかった。
  - ・時間がなくできない体験があったから。
- 無回答（特になし）：30名（76.9%）

## Ⅱ－３【今回の発表会および発表準備に関する質問】

### Ⅱ－３－１）発表のチームワークは上手くできたか

- 強くそう思う：8名（20.5%）
- あまりそう思わない：3名（7.7%）
- まあまあそう思う：28名（71.8%）
- 全く思わない：該当者なし

### Ⅱ－３－２）他班の発表と比較して自分たちの発表は

- 上位に位置していた：3名（7.7%）
- 下位に位置していた：15名（38.5%）
- 中程度に位置していた 21名（53.8%）

### Ⅱ－３－３）発表のための基礎的な手法が身に着いたか

- 強くそう思う：3名（7.7%）
- あまりそう思わない：20名（51.3%）
- まあまあそう思う：14名（35.9%）
- 全く思わない：2名（5.1%）

### Ⅱ－３－４）発表会をすることで、講義や実習の内容がより理解できた

- 強くそう思う：12名（30.8%）
- あまりそう思わない：6名（15.4%）
- まあまあそう思う：17名（43.6%）
- 全く思わない：4名（10.3%）

## その他 演習に関する感想

### 良かった点

- ・農場内のほぼ全ての工程を体験できた。
- ・食品製造などについても学べて良かった。
- ・農場内で体験しながら、学べること。
- ・他大学の学生や教職員と関わることができた。
- ・班ごとに話し合いができた良かった。
- ・発表したことで、インプットしたことをアウトプットできた。
- ・教員や TA が親しみやすい。
- ・TA が常に付いてくれたので、困ることは無かった。
- ・施設が綺麗で、参加料も安く、非常に良心的であると感じた。
- ・飲み物や食事、お菓子などへの配慮がありがたかった。
- ・学食へ行けて良かった。

### 改善点

- ・全体的にスケジュールがタイトである。
- ・お風呂の時間が短すぎた。
- ・食事の時間をもう少し長くしてほしい。
- ・朝食と昼食は自分で選べないので食事のアレルギーなどを事前に聞いてほしい。
- ・学食への移動時間がもったいないと感じた。
- ・全員ができない作業もあり、受講生が多過ぎると感じた。
- ・事前の知識が無く、難しく感じることも多かった。
- ・女子の班に男子が1人だと意見を出しにくい。
- ・サイレージの臭いが苦手だったので、手袋を工夫してほしい。
- ・動物をゆっくり見る時間があると良い。
- ・管理作業では、説明が少なかったなので、説明を増やしてほしい。